

令和7年度

姫路市児童生徒のスマホ利用実態調査と高校生「スマホサミット」

【兵庫県立大学 ソーシャルメディア研究会（連携課：学校指導課、育成支援課）】

研究の目的（背景・課題・意義）

闇バイトやフェイクニュース・誹謗中傷などをきっかけに人命が失われる事態が発生するなど、インターネットやスマートフォンの発達・普及に伴う負の側面が社会問題として顕在化している。本研究では、市内の児童・生徒のスマホ利用に関する実態を調査すると共に、調査結果も踏まえて、高校生がスマホ利用について主体的に議論・提言することを通じて、姫路市における安心・安全なインターネット社会の実現に寄与する。

研究内容・主な実施計画

- ・ 姫路市全小中高校でスマホアンケートを実施し、こどもたちのネットの利用状況を把握する
- ・ アンケート結果を分析し、「高校生サミット」で高校生に提示し、現状分析し、ネット利用の成果と課題を明らかにする
- ・ 高校生自身が自分たちの使い方を見直すとともに、市内小中学生に対して効果的なアドバイスができるシステムを整える
- ・ 話し合った内容を姫路市、姫路市教委に提言し、市としての取り組みに活かす

9月

姫路市スマホアンケート



活用

11月

姫路市
高校生スマホサミット



12月～

市長部局、市教委



対策検討へ